

評価対象

事務事業名	芝浦港南地区保育園地域開放	開始年度	平成 9 年度
所属	芝浦港南地区総合支所管理課施設運営担当	種別	—
所管課長	芝浦港南地区総合支所管理課長		
基本政策	5 明日の港区を支える子どもたちを育む		
政策名	(19) 就学前児童ケアサービスを総合的に推進する。		
施策名	④ 子育て支援サービスの充実		

事業概要

事業の目的	地域に開かれた保育園として、家庭における子育て世代の支援を行うことを目的としています。
事業の対象	家庭において子育てを行っている保護者と就学前の子ども
事業の概要	<p>【該当施設】港区立こうなん保育園・港区立台場保育園 ・月1回程度、1時間半～2時間</p> <p>「保育園であそぼう」事業を通して以下のことを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親（保護者）子の集まる場、安全に遊べる場の提供 ・参加者同士の親睦、交流の機会の援助 ・保育園の職員が助言、指導を行い、正確な育児情報を提供するほか、必要に応じた個別相談
根拠法令等	児童福祉法、港区地域在宅子育て支援制度事業実施要綱

事業の成果

指標	指標1	開催回数（回）			指標2	延べ参加人数（人）			指標3			
		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率
	平成28年度	22	21	95.5%	平成28年度	703	484	68.8%	平成28年度			
平成29年度	22	21	95.5%	平成29年度	500	428	85.6%	平成29年度				
平成30年度	19	—	—	平成30年度	500	—	—	平成30年度		—	—	

指標から見た事業の成果

- ・地域の子育て支援の場として、親子で気軽に参加でき、親子交流や情報交換の場所になっています。また、育児相談ができることで育児不安解消にも繋がっています。

事業費の状況(単位：千円)

年度	予算状況									決算状況	
	当初予算額	一般財源	国庫支出金	都支出金	基金	その他	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
平成28年度	41	41	0	0	0	0	0	0	41	41	100%
平成29年度	106	106	0	0	0	0	0	0	106	105	99%
平成30年度	65	65	0	0	0	0	—	—	—	—	—

事業費から見た事業の状況

平成29年度は行事で使用するためのござや大型絵本等の買い替えにより多年度と比べて予算が増加しています。

事務事業を取り巻く状況等	
前回評価からの改善事項等 (付帯意見への対応等)	最少の経費で効率よい運営をしています。 母子手帳配布時に事業の紹介もされていますが、途中から転入した在宅家庭への周知の工夫が必要です。
区民ニーズや要望 (今後の需要見込み)	利用者の中には、将来的に保育園入園を考えている方もいるため、保育園を知る機会としてニーズがあります。同時に保護者同士の交流や育児相談を求めて参加されて、気軽に専門職に相談できる場として今後も需要は見込まれます。
他団体等の取組状況 (類似事業の有無)	港区内では、子育てひろばや中高生プラザ等のキッズプログラムなどがあります。
コスト削減の工夫・余地	最少の経費や保育園にあるものの活用などで運営しており、また利用者負担は求めないため、削減の余地は難しいです。
委託の有無	なし 一部委託 全部委託
委託の内容	—
委託等アウトソーシングの余地・可能性 (委託なしの場合)	—
事業の課題	日常保育を運営しながら実施するため、保育園の人員体制の問題もあり、回数を増やすことは難しいです。また、近隣に子育てひろばなどがあり、在宅子育て親子の利用の場が広がり、参加人数は減少傾向にあります。
次年度へ向けた事務の改善点	実施した中での参加者ニーズをプログラムや回数に反映していくことが必要です。

一次評価（所管課による自己評価）		
項目	評価※	評価の理由・コメント
① 事業継続の必要性	4	地域に開かれた区立保育園として、専用の園庭をがあり、子育て世代へのサポートを担い、育児相談や交流の場として役割を継続することが必要です。
② 事業の効果性	4	定期的に開催することで、近隣地域の子育て世代が情報交換や交流できる場となります。
③ 事業の効率性	4	最少限の費用で、専門性や施設も活用できます。

※評価は、5:「極めて高い」、4:「高い」、3:「普通」、2:「低い」、1:「極めて低い」を目安に5段階で記入してください。

総合評価	○ 拡充 ● 継続 ○ 改善 ○ 廃止 ○ 統合
所管課による評価の理由 (事業に対する取組方針) ※「拡充」「改善」の場合は拡充・改善する具体的な内容を記載 ※「継続」の場合は継続する具体的な理由を記載 ※「統合」の場合は統合対象事務事業名を記載	この事業は、地域の子育て支援に関する育児相談や孤立の予防、また保護者同士の交流の場としての役割を担っています。保育園で定期的に事業を実施することは、施設や職員の専門知識を活用でき核家族が多い中で必要な事業であり今後も継続が妥当です。

No	平成30年度 港区事務事業評価シート										
評価対象											
事務事業名	芝浦港南地区区長と区政を語る会							開始年度	平成 18 年度		
所属	芝浦港南地区総合支所管理課管理係						種別	-			
所管課長	芝浦港南地区総合支所管理課長										
基本政策	-										
政策名	(29) 参画と協働により互いの顔が見える区政運営を推進する										
施策名	③ 区民参画の推進										

事業概要										
事業の目的	区政に関する区民の需要を的確に把握するため、区民各層から意見・提案を聴取し、区政への反映を図ることにより、区民参加による区政運営を推進します。									
事業の対象	区内在住・在勤・在学者									
事業の概要	<p>区長が区民と懇談を行い、区政に関する意見を聴取します。</p> <p>【開催時期】 総合支所で年1回</p> <p>【開催場所】 総合支所内会議室、区民協働スペースなど</p> <p>【参加者】 公募による区民（在勤・在学含む）、区長、総合支所の管理職など</p> <p>【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度「地元を知って好きになろう ～みんなでつくる芝浦港南地区～」 ・平成26年度「これからの芝浦港南地区について」 ・平成27年度「にぎわいある芝浦港南地区～魅力ある水辺を生かして～」 ・平成28年度「30年後の芝浦港南地区について語ろう！」 ・平成29年度「住み続けたいまち～個々の暮らしを支える地域づくり～」 									
根拠法令等	港区集団広聴実施要綱									

事業の成果												
指標	指標1	参加者数			指標2				指標3			
		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率
	平成28年度	15	13	86.7%	平成28年度				平成28年度			
	平成29年度	15	11	73.3%	平成29年度				平成29年度			
	平成30年度	15	-	-	平成30年度		-	-	平成30年度		-	-
指標から見た事業の成果	さまざまな層の方にご参加いただき、子育て支援や地域活動等、幅広い内容にわたって、区長と意見交換をすることにより、成果を達成している。今後、障害を持っている方の参加も促す。											

事業費の状況(単位：千円)											
年度	予算状況								決算状況		
	当初予算額	一般財源	国庫支出金	都支出金	基金	その他	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
平成28年度	54	54	0	0	0	0	0	0	54	35	65%
平成29年度	50	50	0	0	0	0	0	0	50	29	58%
平成30年度	44	44	0	0	0	0	-	-	44	-	-
事業費から見た事業の状況	決算額については、手話通訳等の報酬が未執行のため現状維持が妥当と思われる。										

事務事業を取り巻く状況等	
前回評価からの改善事項等 (付帯意見への対応等)	健全者のみの参加ではなく、障害を持っている方の参加を促します。
区民ニーズや要望 (今後の需要見込み)	公募の場合、応募者は多くはありませんが、直接区長と懇談し、意見や要望を伝えたいという区民ニーズはあります。
他団体等の取組状況 (類似事業の有無)	【港区の取組】区政モニター（区長室）、町会・自治会連絡会（各地区総合支所で実施、質問・問い合わせ事項への回答など）です。
コスト削減の工夫・余地	必要最小限の経費で実施している事業であり、予算額に削減の余地はありません。
委託の有無	なし 一部委託 全部委託
委託の内容	—
委託等アウトソーシングの余地・可能性 (委託なしの場合)	区長が直接区民等から、地区の事について広く意見等を聴取する場として、施策推進に活用していく価値があります。委託の場合は、今まで以上の経費が必要です。
事業の課題	地域区民の参加を得るため、募集方法や実施時期等を見直す。 テーマ（課題）について、地域区民が参加しやすいものにします。
次年度へ向けた事務の改善点	より多くの地域区民に参加していただくために、広報誌だけではなくチラシ等を作成し、地域内の掲示板に掲示する。また、区民にとって魅力的なテーマを事前に通知し意見を伺うことを検討する必要があります。

一次評価（所管課による自己評価）		
項目	評価※	評価の理由・コメント
① 事業継続の必要性	4	区民から広く意見を聴取し、今後の施策推進に反映するなど、区政運営の推進に必要な事業です。
② 事業の効果性	4	参加者が特定層に偏らない工夫が必要ですが、区長が地域住民の意見等を聴取し、交流を深めることができ、施策に反映できることから効果はあります。
③ 事業の効率性	4	これまで十分に吸い上げられなかった年齢層の意見を集中して聴くことができます。また、限られた時間で質の高い会にすることができます。今後は、中・高・大学生と「区長との懇談会」の開催を検討も必要かと思います。

※評価は、5:「極めて高い」、4:「高い」、3:「普通」、2:「低い」、1:「極めて低い」を目安に5段階で記入してください。

総合評価	○ 拡充 ● 継続 ○ 改善 ○ 廃止 ○ 統合
所管課による評価の理由 (事業に対する取組方針)	<ul style="list-style-type: none"> ・区長が区民から直接意見や要望を聴取する場合は、区民参画による港区政の推進に役立つ重要な事業であり継続すべき事業です。 ・より多くの方々に参加していただくために、幅広い年齢層が参加しやすいテーマ設定、掲示板へのポスター掲出等の周知方法について、検討した上で実施します。 ・全庁的なテーマ（街づくり、環境、高齢者福祉、子育てなど）での開催においては、今後も支援部と連携して開催します。
※「拡充」「改善」の場合は拡充・改善する具体的な内容を記載 ※「継続」の場合は継続する具体的な理由を記載 ※「統合」の場合は統合対象事務事業名を記載	